

10月
新講座

作庭家が解説する 庭園の歴史と鑑賞



- ◆講師 (有)重森庭園設計研究室代表 重森千青
- ◆開講日 第1木曜日 13:00~14:30
- ◆受講料 6カ月(6回)分 16,800円+税

※フィールドワーク時の入場料、交通費等は各自実費ご負担となります。

ちょっとした決まり事を知るだけで、今まで何気なく見ていた庭園が、より一層深遠な世界となって見えてきます。豊富な写真や図面を例に、様々な庭園の見方から植栽、石組、庭園作家のことなどについて、庭園を見るおもしろさが倍増する観賞のポイントを解説します。10月から始まる6カ月講座です。

平成29年10月～平成30年3月 カリキュラム

第1回	10月5日	京の名庭を紐解く(5)「桂離宮庭園」 京都は大和地方から受け継いで日本庭園の中心地となりました。現在でも貴重な庭園が数多く残されていますが、そんな名庭を取り上げて、その名庭の魅力を掘り下げてみたいと思います。今回は日本庭園の中で最も美しいといわれる「桂離宮庭園」取り上げて、その魅力がどこにあるのか掘り下げてみたいと思います。
第2回	11月2日	石組の基礎(1)「蓬莱石組のこと」 日本庭園には必ず石が使われますが、これには美しい風景観を構築する手段として使うだけではなく、様々な意味を込められています。今回は庭園の中で永遠不変性の意味を込めた「蓬莱石組」の事を取り上げて、多彩な表現方法を様々な実例をお見せしながら紐解いてみたいと思います。
第3回	12月7日	名古屋城三の丸庭園 (フィールドワーク) 本庭は明治期に名古屋城二の丸庭園の南御庭を移築したものと伝わる庭園ですが、様々ないわれがある所在のはっきりしない庭園です。使われている石材などは豪華なものばかりで圧倒される迫力があります。その美しさ、力強さ、そして移築かどうかなど、様々な角度から紐解いてみたいと思います。
第4回	※1月11日	北陸地方の特別名勝・名勝庭園(2) 全国にある特別名勝と名勝庭園を取り上げ、その魅力について語っていきます。今回は前回に引き続き北陸地方の庭園で、石川県と福井県の名勝庭園を取り上げます。その魅力や構成と、気候風土に則した美なども含めてお話ししてまいります。
第5回	2月1日	植栽のこと「植え方や構成方法」 庭園内には四季折々の変化を楽しむことのできる樹木が植えられています。ただしそれらの樹木は、新緑、紅葉、花の咲いた時の美しさは当然のことながら、その植え方によって庭園空間自体を変幻自在に操ることができます。その構成方法について掘り下げてみたいと思います。
第6回	3月1日	著名な庭園作家のこと「片桐石州」 江戸期に政治的な手腕を駆使して活躍し、また大茶人として知られている片桐貞昌(石州)について取り上げます。彼の作品として著名な大和郡山に存在する慈光院を中心にして、石州の魅力を紐解いてまいります。

※1月4日休講日の振替受講日は1月11日です。2月分、3月分の受講日は上記のとおりです。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。
- ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
- ※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。

名古屋・栄 中日文化センター
Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル

0120-53-8164 10:00~19:00
日曜日は17:00まで

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F